

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況の公表及び効果の検証について

372,889,484 344,009,000 0 28,880,484

No	事業の区分	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	所管部署	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費(A)				事業実施状況	効果検証 ①事業の成果、効果 ②事業の評価
							交付金充当経費(B)	国庫補助額(C)	その他(一般財源や補助対象外経費等)(D)			
3	通常交付金	高齢者外出支援券	①長期化するコロナ禍において、原油価格や公共料金を含む物価の高騰の影響を受けた町内事業者への支援と高齢者の暮らし応援を目的に、地域での消費拡大を喚起するクーポン券を配布する。 ②扶助費16,040千円、印刷製本費64千円 ③クーポン券16,040千円(4千円×4,010人)、印刷製本費64千円 ④生活者、事業者	福祉課	R4.4.1	R5.3.30	15,379,450	15,379,000	0	450	4,000円×4,333人へ送付 事業実績 15,254,500円 使用率88% 利用状況内訳 買い物 44.7% 理美容 24.2% 温泉 17.2% 交通 9.3%	①物価高騰の影響を受けた事業者の消費拡大、高齢者への暮らしの応援となった 買い物、理美容、温泉など外出を促す機会となった。 ②コロナ前は、温泉で利用される割合が高かったが、物価高の中で買い物に使用され、事業の目的を果たすことができた。
4	通常交付金	GIGAスクール構想の推進(単独分)	①②新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休業等緊急時においても、切れ目ない学習環境を提供するため、学校・自宅で使うICT環境の整備を行う。 ③タブレット端末利用によるWEBフィルタリング運用業務委託料 3,075千円(1,500円×2,050ライセンス) オンライン学習等のための大型提示装置リース料 8,508千円(125,117円×68台) ④小中学校	学校教育課	R4.4.1	R5.3.9	11,301,400	11,301,000	0	400	タブレット端末webフィルタリング ・2,794,000円 小中学校大型提示装置リース料 ・8,507,400円	①②新型コロナウイルス感染症対策で小中学校が学級閉鎖時においても、児童生徒用の1人1台パソコンを使用することで学びの保障を実現するための環境整備ができた。
6	通常交付金	DX推進事業補助金	①長期化するコロナ禍において、中小企業者がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立することを推進するための経費の一部を補助する。 ②補助金5,000千円 ③500千円×10事業所 ④町内事業所	商工観光課	R4.4.1	R5.3.30	3,371,000	3,371,000	0	0	DX推進事業補助金 補助金交付事業者7者(製造業5者、建設業2者) 補助金総額3,371,000円	①AI&RPAを使用した図面管理・工程管理・見積作成システムの導入、受注・売上管理システムの導入、勤怠管理のクラウド化等を行い、競争上の優位性等を確立した。 ②コロナ禍におけるDX推進に取り組む中小企業者の後押しと支援に繋がった。
7	通常交付金	もみじちゃんのおくりもの	①町外に住む18~26歳の箕輪町出身の学生に対し、長期化するコロナ禍における物価高騰等の影響を軽減すべく、お米などの地産品セット又はQUOカードを送り経済的な支援を行う。対象者約900人に対してSNS等により周知を行い申請を受けつける。 ②需用費693千円、通信運搬費243千円、委託料1,944千円 ③商品券等デザイン作成業務委託料1,944千円、郵券料243千円、食品等693千円 ④町外に住む18~26歳の箕輪町出身の学生	企画振興課	R4.6.13	R4.8.19	1,971,820	1,971,000	0	820	申込件数 合計334件 Aセット地産品 104件 BセットQUOカード 230件  ○費用内訳 QUOカード作成業務委託1,237千円、郵券料147千円、地場産品等704千円	①新型コロナウイルス感染症、原油や物価の高騰の中、町外で暮らす学生の生活を応援。ふるさとを思い出し、卒業後の進路を考える機会になるよう、就活情報なども合わせて送付。 ②全対象者の半数を超える申込みがあり、感謝の声も多数あり、一定の意義があった。
10	通常交付金	飼料高騰緊急支援事業補助金	①長期化するコロナ禍において、輸入配合飼料価格が高騰しているため、経営を圧迫されている畜産農家に対し、配合飼料購入費用の一部を助成し経営支援を図る。 ②補助金3,700千円 ③14農家を想定し、配合飼料購入費用の5%を補助(74,000千円×5%=3,700千円) ④町内畜産農家	みどりの戦略課	R4.6.13	R5.3.30	5,204,763	3,700,000	0	1,504,763	町内畜産農家に対し、配合飼料購入費用の一部を補助 補助金額：購入費の5%補助 対象期間：R4.7月から12月まで 交付農家：10農家	①②長期化するコロナ禍において、輸入配合飼料購入費用の高騰が続く中、補助金を交付することによって町内畜産農家の支援を実施することができ、経営安定に繋がった。

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況の公表及び効果の検証について

372,889,484 344,009,000

0 28,880,484

No	事業の区分	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	所管部署	事業開始年月日	事業完了年月日	事業実施状況				効果検証 ①事業の成果、効果 ②事業の評価	
							総事業費(A)	交付金充当経費(B)	国庫補助額(C)	その他(一般財源や補助対象外経費等)(D)		
11	通常交付金	危機突破家賃等支援金	①長期化するコロナ禍において原油高騰・物価高騰等に直面する中小企業者へ固定費である家賃等への支払いの一部を支援する。 ②補助金5,000千円 ③100千円(家賃相当額×1/2)×50事業所 ④町内中小企業者	商工観光課	R4.6.13	R4.9.22	1,976,000	1,976,000	0	0	危機突破家賃等支援金 支援金交付事業者20者(飲食業10者、卸売小売業5者、サービス業3者、製造業1者、医療福祉業1者) 支援金総額1,976,000円	①長期化するコロナ禍と物価高騰・原油価格高騰に直面している中小企業者に対して固定費である家賃支援を行い、事業の継続につながった。②対象事業者を全中小企業者としたことで、幅広い事業者支援となった。
12	通常交付金	原油価格高騰対策事業者支援金	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大による極めて大きな影響に加え、原油価格高騰による経営の圧迫が顕著な交通事業者(バス、タクシー、運転代行)、クリーニング事業者の経営を支援するために補助金を支給する。 ②補助金1,000千円 ③バス事業者300千円×1事業所、タクシー・運転代行・クリーニング事業者100千円×7事業所 ④町内バス事業者、タクシー事業者、クリーニング事業者	商工観光課	R4.6.13	R4.7.25	1,000,000	1,000,000	0	0	原油価格高騰対策事業者支援金 支援金交付事業者8者(クリーニング業4者、代行運転業2者、タクシー業1者、バス業1者) 支援金総額1,000,000円	①長期化するコロナ禍と原油価格高騰による経営の圧迫が顕著な交通事業者(バス、タクシー、運転代行)、クリーニング事業者の事業の継続につながった。②町内の全対象事業者に支援し対象事業者の事業継続に寄与した。
13	通常交付金	みのわプレミアム付き応援券	①長期化するコロナ禍において原油高騰・物価高騰等に直面する町内事業者への支援と住民の暮らし応援を目的に、地域での消費拡大を喚起するプレミアム付き応援券の販売を行う。販売・換金・事務受託事業は、箕輪町商工会が実施する。 ②委託料100,800千円、需用費200千円 ③紙製応援券1セット10,000円(13,000円分)プレミアム率30%×21,038セット みのちゃんカード1セット10,000円(15,000円分)プレミアム率50%×5,528セット プレミアム合計 90,754千円 感染対策消耗品200千円、販売・換金業務等委託料10,046千円 ④町(商工会へ委託)	商工観光課	R4.6.13	R5.3.10	96,898,784	96,898,000	0	784	販売数 プレミアム付応援券(紙券) 20,522冊 プレミアム付みのちゃんポイント 5,288口 発行・換金委託料 96,898,784円	①30%のプレミアム応援券(紙券)と50%のプレミアムポイント(みのちゃんカード)を販売し、換金ベースで343,712,356円の経済効果となった。②長期化するコロナ禍と原油価格・物価高騰により多大な影響を受けた町内事業者への支援と住民の暮らし応援につながった。
14	通常交付金	みのわ温泉利用補助金	①長期化するコロナ禍において、原油価格や公共料金を含む物価の高騰の影響を受ける住民を支援するため、みのわ温泉の利用料金割引料を助成し、住民の負担軽減を図る。 ②補助金15,000千円 ③利用者150,000人を想定し、利用料金1回あたり100円割引分を補助(150,000人×100円=15,000千円) ④みのわ温泉利用者	商工観光課	R4.6.13	R5.3.30	15,000,000	15,000,000	0	0	・みのわ温泉利用補助金 15,000,000円	①大人147,534人、子ども2,466人の利用があった。②コロナ感染拡大防止対策を徹底した上で、物価高騰の影響を受ける住民生活を支援が行えた。コストの高騰に苦しむ運営事業者の支援にもつながった。

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況の公表及び効果の検証について

372,889,484 344,009,000

0 28,880,484

No	事業の区分	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	所管部署	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費（A）				事業実施状況	効果検証 ①事業の成果、効果 ②事業の評価
							交付金充当経費（B）	国庫補助額（C）	その他（一般財源や補助対象外経費等）（D）			
15	通常交付金	子育て世帯支援交付金	①長期化するコロナ禍において、原油価格や公共料金を含む物価の高騰の影響を受ける子育て世帯に対して、保育園・小中学校の給食費等（教職員分は除く）を3ヵ月無償化し家庭負担を軽減させる。 ②保育園は副食費用を減免、小中学校は学校会計への補助 保育園副食費の減免に係る費用 需用費6,021千円 小中学校給食費 交付金36,620千円 ③保育園分6,021千円（3,000円×3月×669人） 小学校22,245千円（280円×63日×1,261人） 中学校14,375千円（310円×63日×736人） ④子育て世帯（保育園・小中学校へ通っている家庭）	子ども未来課 学校教育課	R4.6.13	R4.10.5	42,640,041	40,889,000	0	1,751,041	【子ども未来課】 保育園副食費の免除 令和4年6月～8月（3ヵ月分）  町内保育園 延べ人数 1,899人 5,650,050円  町外幼稚園等 延べ人数 37人 108,750円 【学校教育課】 ・小学校22,062,320円 （7月：280円×21日×1,250人） （8月：280円×21日×1,250人） （9月：280円×21日×1,251人） （7～9月：転入者分） ・中学校13,866,300円 （310円×63日×710人）	【子ども未来課】 ①②町内保育園、町外幼稚園等に 通園する3ヵ月間延べ人数1,936 人、5,758,800円の副食費を免除 することで、物価高騰の影響を受 ける子育て世帯の負担を軽減させ ることができた。 【学校教育課】 ①②原油価格や公共料金を含め物 価高騰の影響がある子育て世帯に 対して小中学校の給食費等3ヵ月 無償化することで家庭負担を軽減 させることができた。
17	通常交付金	物価高騰生活応援券&子ども応援券（R4通常分）	①長期化するコロナ禍においてエネルギー・食料品価格等の影響を受けている町民に対して、経済的負担を軽減するため、クーポン券（「物価高騰生活応援券」及び「子ども応援券」）を発行する。 ②物価高騰生活応援券・・・全世帯へ1万円分子ども応援券・・・18歳以下の者が世帯にいる場合は、その18歳以下の者の人数に1万円分を併せて交付 ③応援券換金業務等委託料142,450千円（10千円×10,100世帯、10千円×4,100人、換金諸業務450千円）、応援券作成等業務委託料1,640千円、郵券料2,435千円 ④住民（町から商工会へ一部委託） ※NO.18と同一事業 総額146,525千円のうちR4通常交付金45,210千円	企画振興課	R4.10.17	R5.2.22	40,496,550	40,496,000	0	550	○1冊1,000円×10枚 ・物価高騰生活応援券（全世帯に1万円分） 対象世帯 10,044世帯  ・子ども応援券（18歳以下の人数に1万円分） 対象世帯 2,284世帯 3,923冊	①換金額136,498千円の町内事業所利用 ・物価高騰生活応援券 金額ベース執行率97.18%  ・子ども応援券 金額ベース執行率99.13%  ②コロナ禍においてエネルギー・食料品価格等の影響を受けた町内事業者への支援と、住民の暮らし応援に繋がった。
18	重点交付金	物価高騰生活応援券&子ども応援券（R4重点交付金事業）	①長期化するコロナ禍においてエネルギー・食料品価格等の影響を受けている町民に対して、経済的負担を軽減するため、クーポン券（「物価高騰生活応援券」及び「子ども応援券」）を発行する。 ②物価高騰生活応援券・・・全世帯へ1万円分子ども応援券・・・18歳以下の者が世帯にいる場合は、その18歳以下の者の人数に1万円分を併せて交付 ③応援券換金業務等委託料142,450千円（10千円×10,100世帯、10千円×4,100人、換金諸業務450千円）、応援券作成等業務委託料1,640千円、郵券料2,435千円 ④住民（町から商工会へ一部委託） ※NO.17と同一事業 総額146,525千円のうちR4重点交付金101,315千円	企画振興課	R4.10.17	R5.2.22	98,010,715	75,637,000	0	22,373,715		

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況の公表及び効果の検証について

372,889,484,344,009,000

0,28,880,484

No	事業の区分	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	所管部署	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費(A)				事業実施状況	効果検証 ①事業の成果、効果 ②事業の評価
							交付金充当経費(B)	国庫補助額(C)	その他(一般財源や補助対象外経費等)(D)			
19	通常交付金	診療・検査医療機関応援交付金	①新型コロナウイルス感染拡大により医療体制が逼迫し、地域の医療サービスを継続することが困難な状況において、検体採取及び検査(外部機関への検査依頼を含む。)を実施している医療機関に対して支援する。 ②交付金(18節)1,500千円 ③1,000千円×1機関、500千円×1機関 ④町内医療機関	健康推進課	R4.9.20	R4.12.15	1,500,000	1,500,000	0	0	箕輪町新型コロナウイルス感染症に対する福祉施設及び医療機関応援交付金要綱(令和2年箕輪町告示第100号)に基づき、新型コロナウイルス感染症における検体採取及び検査を実施している医療機関に対し、規模に応じて、それぞれ50万円、100万円を令和4年12月に交付した。	①②交付対象医療機関の7ヶ所向上に繋がり、コロナ禍における地域医療の継続に一定の効果があつた。 また、住民が町内で検査してもらえることで「移動負担の軽減」という直接的な効果と、何より身近な医療機関で検査してもらえるといった「安心感」に繋がった間接的な効果が得られたことは評価できるものとする。
21	通常交付金	肥料価格高騰緊急支援事業	①コロナ禍において原油価格・物価高騰に直面する農業者に対し、緊急対策として肥料購入費の一部を助成し経営支援を図る。 ②補助金19,000千円 ③900の農業者を想定し、定額補助3,000円と肥料購入費用の20%を補助(3,000円×900+81,500千円×20%=19,000千円) ④町内農業者	みどりの戦略課	R4.9.20	R5.3.30	15,157,949	15,157,000	0	949	町内の農家に対し、肥料購入費の一部を補助 補助金額：定額3,000円と肥料購入費用の20%を補助 対象期間：R4年購入分(R4夏秋肥、R5春肥) 交付農家：301農家	①②コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響により肥料価格が上昇する中、補助金を交付することによって農家の支援を実施することができ、経営安定と農地維持・耕作放棄地発生防止に繋がった。
22	通常交付金	物価高騰福祉事業所及び医療機関等応援金	①長期化するコロナ禍において原油価格や物価高騰等により、医療機関・介護施設等・障がい福祉サービス施設等における負担が増加しているため、町内の福祉事業所及び医療機関等に対して応援金を給付する。 ②補助金8,700千円 ③1事業主あたり200千円(入院施設を有する事業主500千円) 200千円×41事業主=8,400千円、500千円×1事業主=500千円 ④町内の福祉事業所及び医療機関等	福祉課	R4.10.17	R5.2.10	8,700,000	8,700,000	0	0	福祉事業所及び医療機関へ応援金の給付 200千円×41事業所 500千円×1事業所	①原油高騰により電気代や燃料費が高騰しており、各事業所から感謝された。 ②コロナ禍や物価高騰は、医療機関や福祉事業所に大きな負担となっており、事業目的を果たすことはできた。
23	通常交付金	乳幼児等医療費給付金	①長期化するコロナ禍において原油価格や物価高騰等により家計の負担が増加しているため、18歳までの医療費窓口負担費用(500円)を負担し子育て世帯の負担軽減を図る。 ②扶助費11,600千円 ③2,900件/月×500円×8月=11,600千円 ④医療費を負担した18歳以下の子どもがいる世帯(該当医療費を医療機関へ補助)	福祉課	R4.6.13	R5.3.20	10,121,012	6,874,000	0	3,247,012	令和4年8月から18歳までの医療費窓口負担費用(500円)について窓口無料化を実施	①乳幼児は年齢が小さいほど、医療機関の受診が多く、小学校3年生までは、平均10回/年の受診となっている。今年度は8カ月の実績となるが、1人平均3000円の負担軽減となった。 ②コロナ禍や物価高騰による家計の負担が増加している子育て世帯の支援を実施することができた。
24	通常交付金	貨物自動車運送事業者支援金	①長期化するコロナ禍において原油価格や物価高騰等により、物流の基幹的役割を担い、町内の暮らしや産業活動を支える貨物自動車運送事業者が厳しい影響を受けていることを踏まえ、貨物自動車運送事業者の事業継続を支援するため支援金を給付する。 ②補助金5,000千円 ③1事業者あたり上限500千円(貨物軽自動車20千円/台、一般貨物自動車50千円/台) 500千円×10事業者=5,000千円 ④町内の貨物自動車運送事業者	商工観光課	R4.12.19	R5.2.10	4,160,000	4,160,000	0	0	貨物自動車運送事業者支援金 支援金交付事業者20者 支援金総額4,160,000円	①長期化するコロナ禍と燃料価格高騰の影響を受けている貨物自動車運送事業者の事業継続の支援につながった。 ②地域経済を支える重要な社会インフラである物流の維持に寄与した。